

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21003 多様性推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	男女共同参画基本計画、人権施策推進指針、過疎地域持続的発展計画	
	款	2	総務費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり								
	項	1	総務管理費		政策分野		着実な計画の推進								
	目	10	市民活動推進費		施策分野		市民協働・情報発信・多様性								
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2350				市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～多様性を尊重し合える社会を構築します					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが多様な生き方や働き方を選択することができ個性や能力に応じて活躍できる社会の実現を目指す。 高山市男女共同参画基本計画の着実な推進を図る。 高山市人権施策推進指針に基づき人権尊重の理念に対する理解を深める。 平和に対する意識の醸成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進 人権啓発活動の実施 多様性の推進に関する講演会の開催 パートナーシップ宣誓制度の推進 高山人権擁護委員協議会への助成 平和に関する啓発活動の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
社会全体において「男女平等である」と回答する市民の割合(アンケート調査)	-	-	50%
審議会等における女性委員参画率	36.9%	36.9%	40%
ワーク・ライフ・バランスについて「知っている」と回答する市民の割合(アンケート調査)	-	-	80%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5		R6			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
			2,116	2,088	1,476	1,476
特定財源						
国費()						
県費(人権啓発活動費)			485	485	557	557
その他()						
一般財源			1,631	1,603	919	919
新規・拡充	主な事業内容					
	講演会の開催等による啓発		690	690	589	589
	人権擁護委員協議会の活動支援		592	592	592	592
	平和の日・平和都市宣言の啓発		100	100	89	89

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		R2031
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,031	2,031	2,031		△ 85
587	587	587		102
1,444	1,444	1,444		△ 187
査定額	説明			
660				
592				
100				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 多様性講演会の開催(1回) 参加者数 283人 男女共同参画パネル展の開催(1回) 人権だよりの発行(12回) 人権パネル展の実施(1回) 高山人権擁護委員協議会への助成 犯罪被害者に対する見舞金制度(0件) 平和に関するポスター展の開催(1回) こどもたちによる「平和なまち」絵画コンテスト応募作品の展示 各種媒体を活用した啓発活動
評価等	<ul style="list-style-type: none"> パネル展や講演会の開催による学習機会を提供し、女性の職業生活や家族の考え方など、それぞれの立場でのワーク・ライフ・バランスの推進について理解を深めることができた。 人権施策推進指針に基づき人権だよりの発行などにより、人権尊重の理念に対する理解を深めた。 平和に関するポスター展の内容をこども向けポスターにすることで、こどもから大人まで幅広い層の平和への意識を高めることができた。 各種取り組みを継続的に実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会実現に対する社会全体の機運を高めるため、女性の職業生活における活躍やワーク・ライフ・バランスの推進を図る。 第5次男女共同参画基本計画に基づき、行政・地域・事業者が協働・連携した取り組みを進め、市民の男女共同参画に対する意識の高揚を図るとともに、本計画の必要性や時代に即した方向性、見直しの検討を進める。 社会情勢の変化に対応した人権施策推進指針の見直しに向けて検討を進める。 市民の平和への意識が高まるよう市民の主体的な取り組みにより重点を置く。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	多様性の推進に向けた意識啓発等に必要経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94100 社会教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり								
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	1	社会教育総務費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2349	市長公約										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の推進を図る。 地域づくり活動の充実に資する学びを推進することで、地域コミュニティの活性化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議の開催 県や飛騨地区の研修会等への参加
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	40.1%	42.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,276	893	2,156	2,156	779	△ 114
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		2,276	893	2,156	2,156	779	△ 114
新規・拡充	主な事業内容						
	社会教育委員会議の設置	1,311	701	1,311	1,311	537	△ 164

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		1,237
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,237	1,237	1,237	△ 919	
1,237	1,237	1,237	△ 919	
査定額	説明			
892				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議の開催(4回) ※オンライン併用 県及び飛騨地区の研修会等への参加 ※オンライン併用
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習・社会教育活動について認識を深めるため、オンラインも併用しながら各種大会や研修会等へ参加した。 生涯学習施設の使用規定の緩和など、社会教育委員と意見交換等を行いながら取り組みを進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 各種施策の推進や各種計画の見直しにおいて、社会教育委員との意見交換等を行いながら、取り組みを進める。 社会教育委員の改選に伴い、より幅広い視点で各種施策の検討ができるよう青少年育成や家庭教育、文化振興に加え、スポーツ、市民活動、高等学校、特別支援学校などの分野のバランスも考慮した委員構成の見直しをすすめる。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議の開催(4回) ※オンライン併用 県及び飛騨地区の研修会等への参加
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習・社会教育活動について認識を深めるため、オンラインも併用しながら各種大会や研修会等へ参加した。 各種計画の見直しにあたっては、社会教育委員との意見交換を重ね、いただいた意見を踏まえ計画等の改定を進めた。 社会教育委員の改選については、幅広い視点で各種施策の検討ができるよう分野のバランスも考慮した委員構成とした。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 各種施策の推進や各種計画の見直しにおいて、社会教育委員との意見交換等を行いながら、取り組みを進める。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の活動に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94110 市民憲章推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画			
	担当課	市民活動部	生涯学習課		内線	2350	款		9	教育費	ポイント	(1)		自分らしく、充実して暮らせる環境づくり	市長公約		
							項		4	社会教育費	政策分野	2		こども・教育・交流			
							目		1	社会教育総務費	施策分野	(4)		生涯学習・文化芸術			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民憲章の推進を図る。	概要	・高山市市民憲章推進協議会への支援
----	--------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,700	4,791	6,700	6,700	4,582	△ 209
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		6,700	4,791	6,700	6,700	4,582	△ 209
新規・拡充	主な事業内容						
	高山市市民憲章推進協議会の活動支援	700	700	700	700	700	0
	高山市市民憲章推進協議会の活動支援(花いっぱい運動)	6,000	4,091	6,000	6,000	3,882	△ 209

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		4,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,700	4,700	4,700	△ 2,000	
4,700	4,700	4,700	△ 2,000	
査定額	説明			
700				
4,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市民憲章推進協議会への支援 花苗配布 239団体 苗128,376株、花種配布 20団体 種7,760粒 フラワーコンクール 応募 52点 文化講演会 参加者数 230名 ※「今年の気象から見る災害への備え」講師 気象キャスター 寺尾直樹氏 施設の市民無料公開 32施設 来館者 4,232人 版画年賀状コンクール 応募 212点
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市民憲章推進協議会の活動を通じ、市民憲章の理念の浸透を進めている。 市民等が一体となって市民憲章の実施に取り組む必要がある。 小学生に出前授業を行い、市民憲章の目的が伝わる啓発を行った。 花苗の配布方法や地域の負担軽減に向けた役員数等の見直しを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動のあり方など、事業全体の検証を行いながら、高山市市民憲章の周知を図る。 施設の無料公開について、従来の歴史・文化施設に限らず、市民憲章全体の具現化に取り組むための事業になるよう見直しをすすめる。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市民憲章推進協議会への支援 花苗配布 206団体 苗110,418株 フラワーコンクール 応募 52点 文化講演会 参加者数 83名 ※「ご家庭で楽しむ こどものための音楽」講師 作曲家・マルチアーティスト 青島広志氏 施設の市民無料公開 32施設 来館者 7,691人 版画年賀状コンクール 応募 263点 版画年賀状作品展 来場者 512人 ※高山市青少年育成市民会議主催 家庭の日 図画・ポスター展、家族スナップ写真展と同時開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市民憲章推進協議会の活動を通じ、市民憲章の理念の浸透を進めている。 市民等が一体となって市民憲章の実施に取り組む必要がある。 小学生に出前授業を行い、市民憲章の目的が伝わる啓発を行った。 フラワーコンクールについては、写真審査方式へと見直すことで、開花中の花壇を広く市民に周知するとともに、審査員の負担軽減を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動やフラワーコンクールのあり方など、事業全体の検証を行いながら、高山市市民憲章の周知を図る。 市民のための施設無料公開に参加協力する施設の多様化を図る。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市民憲章の実践と推進に必要な経費を計上 市民が市内の施設を見学し地域の良さを再発見できる機会を提供するために必要な経費 など 花いっぱい運動についてはフラワーコンクールの見直し 市民のための施設無料公開の周知方法見直し等
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94200 文化会館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画			
	担当課	市民活動部	生涯学習課		内線	2349	款		9	教育費	ポイント	(1)		自分らしく、充実して暮らせる環境づくり	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します	
							項		4	社会教育費	政策分野	2		こども・教育・交流			
							目		2	文化会館費	施策分野	(4)		生涯学習・文化芸術			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 市民の文化芸術の向上と福祉の増進を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	49.9%	50.0%	↗
文化施設利用者数(年間)	292,221人	287,409人	462,000人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	172,331	162,894	133,403	134,673	134,183	△ 28,711
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、使用料)	40,061	40,144	58	58	83	△ 40,061
一般財源	132,270	122,750	133,345	134,615	134,100	11,350
新規・拡充	主な事業内容					
市民文化会館の管理運営	125,259	120,093	127,893	129,163	128,984	8,891
施設整備・備品購入	47,072	42,801	5,510	5,510	5,199	△ 37,602

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		130,138
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減(d)-(c)	
128,610	130,138	130,138	△ 3,265	
82	58	58	0	
128,528	130,080	130,080	△ 3,265	
査定額	説明			
127,638				
2,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用件数 5,770件(市民文化会館:1,279件、市民館:4,491件) 利用者数 181,980人(市民文化会館:82,520人、市民館:99,460人) 施設整備 給水ポンプ改修、非常用照明蓄電池更新、調光操作卓購入 ほか
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用についてコロナ禍から回復傾向にあるが、依然としてホールの利用は回復していない。 ニーズに対応した運用を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた整備を行う必要がある。 駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。 施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 防火シャッターの改修など必要な整備を実施する。 駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用件数 5,923件(市民文化会館:1,331件、市民館:4,592件) 利用者数 192,292人(市民文化会館:87,405人、市民館:104,887人) 施設整備 防火シャッター改修 ほか
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに対応した運用を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた整備を行う必要がある。 駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。 施設の使用規定の緩和を行った。 施設予約システムの導入により、業務効率と利用者の利便性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 会館の維持に必要な整備を実施する。 駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館の管理運営に必要な経費を計上 文化会館の施設整備(インターカム設備更新)に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94300 公民館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します				
	項	4	社会教育費		政策分野	2	子ども・教育・交流								
	目	3	公民館費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2349											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 市民の生涯学習及び交流をはじめとする、多様な活動の推進を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	58,962	56,119	74,240	76,470	74,178	18,059
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(使用料、土地貸付収入等)	6,808	6,682	11,710	11,710	7,825	1,143
一般財源	52,154	49,437	62,530	64,760	66,353	16,916
新規・拡充	主な事業内容					
公民館の管理運営	53,386	51,199	49,410	51,885	51,288	89
施設整備・備品購入	5,576	4,920	24,830	24,585	22,890	17,970

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		89,130
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
80,554	89,130	89,130	14,890	
1,345	1,345	1,345	△ 10,365	
79,209	87,785	87,785	25,255	
査定額	説明			
62,360				
26,770				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(13施設のうち5施設) 利用状況 利用者数 178,136人(高山市公民館を含む) 公民館登録団体数 156団体 施設整備 一之宮公民館高圧設備改修 ほか
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて施設整備を行った。 定期報告等に基づく施設整備を行う必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 公民館登録団体と体育施設利用登録団体の制度の統合や使用規定の一部緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の更なる緩和や施設予約システムの導入などにより、より一層の利用促進を図る。 水銀灯からLED照明への切替など必要な整備を実施する。 公共施設等総合管理計画に基づく施設の整理をすすめる。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(13施設のうち5施設) 利用状況 利用者数 170,725人(高山市公民館を含む) 施設整備 久々野公民館高圧設備改修 ほか 秋神研修センターについては令和6年度末をもって廃止した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて施設整備を行った。 定期報告等に基づく施設整備を行う必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 利用促進を図るため、施設の使用規定の緩和を行った。 施設予約システムの導入により、業務効率と利用者の利便性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 LED照明への切替など必要な整備を実施する。 公共施設等総合管理計画に基づく施設の整理をすすめる。

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の管理運営に必要な経費を計上 公民館の施設整備(LED改修等)に必要な経費を計上 秋神研修センターの解体に必要な経費を計上
-----	--

財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94400 女性青少年会館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画	
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		市長公約						
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	4	女性青少年推進費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2361											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 女性青少年会館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 勤労青少年ホームを活用した各種事業の実施により、青少年の健全育成を図る。 	概要	指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	20,330	20,062	26,040	27,880	27,091	7,029
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(使用料、敷地占用料)	18	21	18	18	17	△ 4
一般財源	20,312	20,041	26,022	27,862	27,074	7,033
新規・拡充	主な事業内容					
	19,930	19,688	23,540	25,380	25,369	5,681
	400	374	2,500	2,500	1,722	1,348

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		29,660
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
27,638	29,660	29,660	3,620	
18	18	18	0	
27,620	29,642	29,642	3,620	
査定額	説明			
25,560				
4,100				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 各種講座等を実施 勤労青少年ホームと合わせて17,731人が利用 施設整備 落雪防止ネット設置 ほか
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 冷暖房器具の更新など必要な整備を実施する。 駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 各種講座等を実施 勤労青少年ホームと合わせて18,170人が利用 施設整備 スポットクーラー、FF式暖房機の設置
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設を広く知ってもらい利用促進につなげるため、各学校への出前講座の実施や多数のワークショップの開催、市内の高等学校や地域と連携した取り組みを行った。 駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 94405勤労青少年ホーム運営事業費を統合 女性青少年会館の管理運営に必要な経費を計上 勤労青少年ホームの運営(教養講座の開催)に必要な経費を計上
-----	---

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94405 勤労青少年ホーム運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり						
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流						
	目	4	女性青少年推進費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術						
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2361				市長公約					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・勤労青少年ホームを活用した各種事業等の実施により、青少年の健全育成を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営 ・勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する支援
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	4,100	4,069	4,100	4,100	4,100	31
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	4,100	4,069	4,100	4,100	4,100	31
新規・拡充	主な事業内容					
	勤労青少年ホームの管理運営	3,950	3,944	4,100	4,100	156
	勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する助成	150	125			△ 125

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
			0
			△ 4,100
			△ 4,100
査定額	説明		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・施設の管理運営 各種講座等の実施 女性青少年会館と合わせて17,731人が利用 ・勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する助成
評価等	・施設を広く知ってもらい利用促進につなげるため、市内の高等学校と連携した取り組みを行った。 ・駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設のより一層の利用促進を図る。 ・駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。 ・勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する支援のあり方について見直しを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・施設の管理運営 各種講座等の実施 女性青少年会館と合わせて18,170人が利用
評価等	・施設を広く知ってもらい利用促進につなげるため、ニーズの把握や情報発信、地域への協力を行ったことにより、誰でも気軽に利用できる地域に根付いた施設として有効利用されている。 ・駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設のより一層の利用促進を図る。 ・駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・94400女性青少年会館等管理事業費に統合
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94410 青少年健全育成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり								
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	4	女性青少年推進費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2361											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・青少年健全育成団体の支援等を通じて、健全な青少年を育成する。	概要	・青少年健全育成活動 ・青少年健全育成団体の活動に対する助成
----	---------------------------------	----	-----------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,130	1,925	1,960	1,960	1,882	△ 43
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		2,130	1,925	1,960	1,960	1,882	△ 43
新規・拡充	主な事業内容						
	青少年育成推進員による青少年の育成活動	410	401	410	410	373	△ 28
	青少年健全育成団体の活動支援	1,630	1,517	1,500	1,500	1,500	△ 17

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		1,930
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,917	1,930	1,930	△ 30	
1,917	1,930	1,930	△ 30	
査定額	説明			
380				
1,500				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成活動 少年補導センター補導員研修会(オンライン併用) 参加者67人(会場26人、オンライン41人) 青少年健全育成団体の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成団体、町内会、まちづくり協議会の連携強化を図る必要がある。 補導員研修会や少年の主張コンクールなどオンライン配信し、より多くの方に視聴いただくことができた。 補導センター運営委員会について、関係団体の負担軽減を図るため組織の見直しを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成団体など、社会の変化に応じた活動のあり方を協議・検証しながら取り組みを進める。 高山少年補導センターを高山市青少年育成市民会議に統合する。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成活動 少年の主張コンクール 来場者130人(YouTube 552回再生) 街頭啓発活動 11月 MSリーダーズ61人、MSJリーダーズ39人、総勢123人参加 家庭の日図画・ポスター展 応募 図面39点 ポスター3点 家族スナップ写真展 応募24点 家庭の日図画・ポスター展、家族スナップ写真展 来場者数512人 ※高山市民憲章推進協議会主催 版画年賞状コンクールと同時開催 青少年健全育成団体の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成団体、町内会、まちづくり協議会の連携強化を図る必要がある。 少年の主張コンクールなどオンライン配信し、より多くの方に視聴いただくことができた。 高山少年補導センターを高山市青少年育成市民会議に統合したことにより、関係団体の負担軽減が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成団体など、社会の変化に応じた活動のあり方を協議・検証しながら取り組みを進める。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成推進員の活動に必要な経費を計上 青少年育成団体の活動支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94420 二十歳のつどい開催事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり									
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流									
	目	4	女性青少年推進費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術									
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2350				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 「二十歳のつどい」を開催する。 旧友と近況を語らい、今後に向かって励まし合う場を提供する。 地元高山市を意識し、地域社会への参加を考える機会とする。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 高山地域は全中合同で支所地域は中学校区で実行委員会を組織し二十歳のつどいを開催 市内の事業者や団体と連携して開催し、地元企業情報や就職・起業支援情報等を二十歳の若者に対して発信
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,000	2,968	3,000	3,000	2,406	△ 562
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,000	2,968	3,000	3,000	2,406	△ 562
新規・拡充	主な事業内容						
	式典の開催	3,000	2,968	3,000	3,000	2,406	△ 562

(千円)

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,000	3,000	3,000	0	
3,000	3,000	3,000	0	
査定額	説明			
3,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各地域ごとに組織された実行委員により、市内9会場で開催 ○令和5年度対象者 令和6年1月開催 対象者928人のうち、763人参加
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 形式的な式典を短縮し、友人や恩師、家族の交流を重視した内容とし、若者の交流や出合いの機会を提供することができた。 高山へのアイデアを募集することで、地域への思いを伝えられる場を提供することができた。 民間事業者団体と連携し、地元企業の情報などを発信する機会とすることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地元高山市を意識し、地域社会への参画を意識する機会とするための事業内容を検討する。 民間事業者等と連携した取り組みをすすめる。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各地域ごとに組織された実行委員により、市内9会場で開催 ○令和6年度対象者 令和7年1月開催 対象者874人のうち、707人参加 ○令和6年度協賛民間事業者団体 事業者団体数 23社、協賛金 265千円、協賛品 多数
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 形式的な式典を短縮し、友人や恩師との交流を重視した内容とし、近況報告や情報交換など交流の機会を提供することができた。 高山へのアイデアを募集し、市の担当課からアイデアに対する回答をすることで、対象者が地域への思いを伝える場の提供だけでなく、市の取り組みを知ってもらえる機会とすることができた。 民間事業者団体と連携することで、地元企業の若者に向けたPRの場を提供することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 就職を考える時期の若者に向け、地元高山市での就職を意識してもらえような事業内容を検討する。 行政、地域、事業者が協働・連携した取り組みを進める。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 二十歳のつどい開催に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94500 図書館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり								
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2397	項	4	社会教育費	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約		
	目	5	図書館費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 市民の多様な学習活動を促進し、広く文化的風土を醸成することで市民の教育文化の向上を図る。 	概要	指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
高山市図書館における高校生以下の貸し出し冊数	59,700冊	54,482冊	85,000冊

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	207,544	207,165	239,240	252,150	251,895	44,730
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)		31			12	△ 19
一般財源	207,544	207,134	239,240	252,150	251,883	44,749
新規・拡充	主な事業内容					
図書館の管理運営	206,187	205,809	236,440	249,350	249,099	43,290
施設整備・備品購入	1,357	1,356	2,800	2,800	2,796	1,440

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		297,070
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
291,857	297,070	297,070	57,830	
10	0	13,000	13,000	
291,847	297,070	284,070	44,830	
査定額	説明			
253,270				
43,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 蔵書数 313,316点 利用登録者数 18,861人 貸出利用者数 130,256人(延べ) 貸出点数 377,600点 施設整備 除湿器更新 ほか
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズや地域課題等の変化に応じて資料の購入や配本ができるよう選書方針を定めた。 市民アンケートを実施し、普段図書館を利用しない市民も含めて幅広いニーズの把握に努めた。 交流スペース、ファミリースペース、一之宮分館位山分室を整備し、本を借りる以外にも様々な目的で図書館に来てもらう取り組みなどをすすめた。 資産形成講座など、時代のニーズに合わせた講座を開催した。 施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 選書委員会のあり方を検討する。 施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 郷土近代文学資料研究事業について、R7年度末までを目途として資料の整理を進める。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 蔵書数 301,848点 利用登録者数 19,279人 貸出利用者数 126,731人(延べ) 貸出点数 357,265点 施設整備 図書館システム更新、防犯カメラの修繕 ほか
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズや地域課題等の変化に応じて資料の購入や配本ができるよう選書方針を定めた。 資産形成講座など、時代のニーズに合わせた講座を開催した。 使用規定の緩和のPRや、多様な主体と協働したイベントの開催を通じ、利用促進を図った。 図書館システムを更新し、利用者の利便性向上やセキュリティ強化を図った。 事務の効率化を図るため、図書館および関係課が連携して選書方針を定め、その方針に基づいて選書を行うよう選書委員会の見直しを行った。 施設予約システムの導入により、業務効率と利用者の利便性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに沿った事業を展開し、施設のより一層の利用促進を図る。 郷土近代文学資料研究事業について、R7年度末までを目途として資料の整理を進める。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の管理運営に必要な経費を計上 図書館の施設整備(空調設備改修、LED改修、外壁塗装)に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94600 文化芸術振興事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、文化芸術振興指針、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり								
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	6	文化振興費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2361					市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民の主体的な文化芸術活動を支援する。 文化芸術の振興を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民主体の文化芸術活動に対する支援 美術展覧会等の開催 文化芸術に触れる機会の提供 こども夢創造事業(文化芸術)の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「文化芸術分野」の公民館登録団体数	108団体	-	180団体
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	49.9%	50.0%	↗
市の公算美術展への出品点数(年間)	276点	257点	1,520点

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		16,246	11,819	51,400	51,400	43,018	31,199
特定財源	国費(文化振興支援事業費)		738				△ 738
	県費						
	その他(文化振興事業雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	10,000	10,000	5,020	5,020	5,045	△ 4,955
一般財源		6,246	1,081	46,380	46,380	37,973	36,892
新規・拡充	主な事業内容						
	文化芸術活動に対する助成	10,500	7,697	10,500	10,500	6,164	△ 1,533
	市美術展覧会・市所蔵美術品展の開催			4,350	4,350	4,321	4,321
	市民、小学生を対象とした文化芸術鑑賞			22,000	22,000	22,000	22,000
	飛騨春慶弦楽器の活用	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0
	こども夢創造事業(文化芸術)			2,000	2,000	2,000	2,000
○ 1	「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催	840	382	10,100	10,100	6,268	5,886
	エンジン02in岐阜の開催	2,146	1,476				△ 1,476

*下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	42,190
41,688	41,690	42,190	△ 9,210	
20	20	20	△ 5,000	
41,668	41,670	42,170	△ 4,210	
査定額	説明			
10,500				
4,740				
22,000				
2,000				
2,500				

*入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山市文化芸術振興奨励金:14件(個人11名、団体3件) 「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催準備 第68回高山市美術展覧会(出品数:276点、来場者数:2,417人) 市所蔵美術品展「玉賢三ポスター作品展」の開催(展示作品65点、来場者数4,666人) 市民文化芸術鑑賞事業:15回 6,425人来場 小学校芸術鑑賞事業:音楽(小学校7校)734人、観劇(小学校20校)746人 こども夢創造事業:5回、165人 飛騨春慶弦楽器演奏会の開催(10会場 計11回開催、参加人数:722人) 文化芸術活動支援事業補助金:12件(継続5件、創造7件) エンジン02in岐阜の開催(参加者数:900名)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催に必要な企画及び関係機関・団体との連絡調整等を行うとともに、開催機運の醸成のため広報活動を展開した。 エンジン02in岐阜について県と連携し実施することができ、参加者のアンケートでは9割超が高評価と回答した。 市民が主体的に行う文化芸術活動に対し、新たな助成制度を設けるなど支援体制を強化した。 飛騨春慶弦楽器活用を文化団体に委託したことで、市内各地の多様な会場で多くの市民が音楽に親しむ機会を提供することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民が主体となって行う文化芸術活動に対する支援策を強化していく。 市民、市、多様な団体が連携して文化芸術の振興を図っていくため、美術展覧会等開催事業費と文化芸術鑑賞事業費を文化振興支援事業費に統合し、名称を文化芸術振興事業費として事業計上する。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山市文化芸術振興奨励金:13件(個人11名、団体2件) 「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催(民謡・民舞の祭典、オーケストラの祭典、囲碁の祭典) 第69回高山市美術展覧会の開催(出品数257点、来場者数2,402人) 市所蔵美術品展「たまゆら写真展」の開催(展示作品36点、来場者数577人) 市民文化芸術鑑賞事業:17回 6,525人来場 小学校芸術鑑賞事業:音楽(小学校7校)1,776人、観劇(小学校21校)716人 こども夢創造事業:4回、134人 飛騨春慶弦楽器演奏会の開催(9会場 計10回開催、参加人数:777人) 文化芸術活動支援事業補助金:10件(継続4件、創造6件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 「清流の国ぎふ」文化祭2024において、全国から参加した出演(場)者との交流を通じて、市の文化芸術振興を図った。 専門的な知見をもつ市民や団体と連携することで、より充実した美術展覧会等を開催することができた。 市民が主体的に行う文化芸術活動に対し助成をすることで、市の文化芸術振興を図った。 市民のニーズを踏まえ、質の高い文化芸術事業を実施した。 こどもたちに優れた芸術を鑑賞する機会を提供し、感性と創造力の醸成に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民が主体となって行う文化芸術活動に対する支援策を強化していく。 美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術の振興を図る。 市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供する。 こどもたちが文化芸術に触れられる機会を確保する。

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 市民の主体的な文化芸術活動に対する支援に必要な経費を計上 美術展覧会等の開催に必要な経費を計上 優れた文化芸術に触れる機会を提供するために必要な経費を計上
-----	---

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 こども夢創造事業に必要な経費を計上

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	94600 文化芸術振興事業費	区分	<input type="checkbox"/> R6新規	<input type="checkbox"/> R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	生涯学習課
枝番・内容	1 「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催		<input checked="" type="checkbox"/> R6拡充	<input type="checkbox"/> R7拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費			
		<input type="checkbox"/>		目		6	文化振興費	内線		
								作成年月		R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024(第39回国民文化祭／第24回全国障害者芸術・文化祭)において全国文化交流事業を実施する。	概要	・「清流の国ぎふ」文化祭2024全国文化交流事業の開催
----	--	----	-----------------------------

[参考] R5決算(Do-Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	840
	繰越	
	補正等	
	最終	840
決算額		382
対前年度増減額(決算)		382

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	10,100
主な経費	・「清流の国ぎふ」文化祭2024全国文化交流事業の開催	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do-Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	10,100
	繰越	
	補正等	
	最終	10,100
決算額		6,268
対前年度増減額(決算)		5,886

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・市実行委員会の設立及び総会の開催 ・先催県の視察 ・開催要項の作成・公開 ・出演団体(者)の応募受付 ・広報周知 	
[評価等]	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の開催に必要な企画及び関係機関・団体との連絡調整等を行った。 ・県実行委員会と協力・連携して、開催への機運を高めるために広報活動を展開した。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の開催に向けて着実に準備を進める。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
目的: 令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024において全国文化交流事業を実施する。	
内容: 「清流の国ぎふ」文化祭2024全国文化交流事業の開催 ・10月20日(日) 民謡・民舞の祭典(高山市民文化会館) 全国から民謡・民舞団体を募集し、各地の民謡・民舞を披露する。 ・10月27日(日) オーケストラの祭典(飛騨・世界生活文化センター) 全国からアマチュア奏者を募集し、各自で練習を重ねて、合奏を披露する。 ・11月16日(土)～17日(日) 囲碁の祭典(高山市民文化会館) 全国から囲碁愛好者を募集するとともに、プロ棋士を招聘し、囲碁大会を開催する。視覚障がい者による囲碁大会も併せて開催する。	
[スケジュール]	
R6.4～9 事業の開催準備、参加者の募集 R6.10～11 事業の開催	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
「清流の国ぎふ」文化祭2024全国文化交流事業の開催 ・10月20日(日) 民謡・民舞の祭典(高山市民文化会館) 全国から民謡・民舞団体を募集し、各地の民謡・民舞を披露。 出演者 550人 来場者 750人 ・10月27日(日) オーケストラの祭典(飛騨・世界生活文化センター) 全国からアマチュア奏者を募集し、各自で練習を重ねて、合奏を披露。 出演者 222人 来場者 400人 ・11月16日(土)～17日(日) 囲碁の祭典(高山市民文化会館) 全国から囲碁愛好者を募集するとともに、プロ棋士を招聘し、囲碁大会を開催。併せて、視覚障がい者による囲碁大会も開催。 出場者 111人 来場者(出場者含む) 200人	
[評価等]	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国から参加した出演(場)者との交流を通じて、市の文化芸術振興を図った。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・維持・改善 ・拡大 ・縮小 ・廃止検討 ・R6完了 ・R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94620 文化伝承館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画	
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します				
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	6	文化振興費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2349											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化伝承館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 市民の間に深く根付いてきた伝統文化を学び、親しみ、伝承するとともに、市民の文化意識の高揚を図る。 	概要	指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	49.9%	50.0%	↗
文化施設利用者数(年間)	292,221人	287,409人	462,000人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,170	4,169	5,020	5,410	5,401	1,232
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		4,170	4,169	5,020	5,410	5,401	1,232
新規・拡充	主な事業内容						
	文化伝承館の管理運営	4,170	4,169	5,020	5,410	5,401	1,232

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action) (千円)

R7予算		実施計画額		5,410
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,018	5,410	5,410	390	
5,018	5,410	5,410	390	
査定額	説明			
5,410				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用者数 878人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用についてコロナ禍から回復傾向にあるが、施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の緩和などにより、より幅広い目的での利用促進を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R5完了
- R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用者数 1,411人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設予約システムの導入により、業務効率と利用者の利便性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の緩和などにより、より幅広い目的での利用促進を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	文化伝承館の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94900 生涯学習推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			市長公約	優しく！～周りを敬うやさしさ～					
	項	4	社会教育費		政策分野	2	子ども・教育・交流				子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます。					
	目	9	生涯学習推進費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術									
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2350												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	生涯学習機会の提供と充実を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> 子ども夢創造事業(科学)の実施 多様な生涯学習情報の提供 多様な学習情報やイベント情報を提供するプラットフォームの構築及び運用(R7～)
----	------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
各種講座(生涯学習講座、出前講座、子ども夢創造事業)参加者数	14,368人	15,414人	25,000人
「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	40.1%	42.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,980	1,581	1,530	1,530	1,405	△ 176
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		2,980	1,581	1,530	1,530	1,405	△ 176
新規・拡充	主な事業内容						
	子ども夢創造事業(科学)	2,790	1,581	1,510	1,510	1,405	△ 176
	生涯学習情報プラットフォームの構築及び運用						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		4,510
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減(d)-(c)	
4,509	4,510	4,510	2,980	
		1,000		
4,509	4,510	3,510	2,980	
査定額	説明			
1,510				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 子ども夢創造事業の実施(6回、330人) 科学ひろば 参加者231人 施設見学(御母衣ダム・発電所) 参加者7人 施設見学(京都大学飛騨天文台) 参加者21人 クルマを楽しく学ぼう@高山自動車短大 参加者8人 ものラボワークショップ 参加者30人 環境科学実験教室 参加者33人 放送大学岐阜学習センター高山分室の管理運営(学生数60人、新規入学者17人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が科学やものづくりを通じて将来の夢や職業意識を育むことができるような事業を開催した。 子ども夢創造事業(施設見学)において、世界的な最先端技術を児童が体験できる機会を創出した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 子ども夢創造事業の実施(3回、55人) 施設見学(ジオパーク&地熱発電所) 参加者8人 クルマを楽しく学ぼう@高山自動車短大 参加者7人 ものラボワークショップ 参加者40人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が科学やものづくりを通じて将来の夢や職業意識を育むことができるような事業を開催した。 子ども夢創造事業(施設見学)については、事業内容の見直しを行い、子どもたちが地域の自然や科学に対する理解を深め、興味・関心を高められるような取り組みとした。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習機会の提供に必要な経費を計上 多様な学習情報やイベント情報を提供するプラットフォームの構築及び運用に必要な経費を計上
-----	---

財務部査定の方	・積算内容を精査
市長査定の方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94910 家庭教育充実事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	9	教育費		ポイント										
	項	4	社会教育費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	9	生涯学習推進費		施策分野	(2)	学校教育								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2361				市長公約							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域との関わりの中で教え学び合えるつながりのある家庭教育を促進する。 PTAが行う、親子の学び合いやふれあい活動を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の開催 市PTA連合会の活動に対する支援
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
家庭教育に関する各種学習機会への参加者数(年間)	32,212人	32,157人	48,000人
「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	40.1%	42.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,140	635	890	890	650	15
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	1,140	635	890	890	650	15
新規・拡充	主な事業内容					
	講演会・講座の開催	680	226	480	241	15
	市PTA連合会の活動支援	310	310	310	310	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		890
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
884	890	890	0	
884	890	890	0	
査定額	説明			
480				
300				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の開催支援 市・学校・PTA等で186回の講座・講演会等を開催。うち「学ぶPTA」を7校で実施 PTA連合会の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学校やPTAと連携し、保護者を対象とした家庭教育講座の開催を支援した。 市PTA連合会の研修会をオンライン開催とし、保護者のニーズに応じた学びの場を提供できるよう支援した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の学習機会の提供と充実を図る。 地域・学校・各種団体が連携した家庭教育を推進する。 PTAがより良い活動ができるよう団体を支援する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の開催支援 市・学校・PTA等で196回の講座・講演会等を開催。うち「学ぶPTA」を8校で実施 PTA連合会の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 学校やPTAと連携し、保護者を対象とした家庭教育講座の開催を支援した。 市PTA連合会の研修会をオンライン開催とし、保護者のニーズに応じた学びの場を提供できるよう支援した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の学習機会の提供と充実を図る。 地域・学校・各種団体が連携した家庭教育を推進する。 PTAがより良い活動ができるよう団体を支援する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の学習機会の充実に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	94920 生涯学習施設等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	9	教育費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します				
	項	4	社会教育費		政策分野	2	子ども・教育・交流								
	目	9	生涯学習施設推進費		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術								
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2397											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	生涯学習施設の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 市民の文化芸術の向上と福祉の増進を図る。	概要	指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	40.1%	42.3%	↑

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		44,152	40,035	40,795	42,345	40,954	919
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(使用料)	5	22	5	5	292	270
一般財源		44,147	40,013	40,790	42,340	40,662	649
新規・拡充	主な事業内容						
	生涯学習施設等の管理運営	40,755	36,638	36,155	37,705	37,107	469
	施設整備・備品購入	3,397	3,397	4,640	4,640	3,847	450

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		39,865
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
37,747	39,865	39,865	△ 930	
5	5	5	0	
37,742	39,860	39,860	△ 930	
査定額	説明			
39,865				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(2施設) 利用状況 利用件数 754件 利用者数 30,406人 施設整備 国府文化ホールワイヤレスマイク機器更新
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 水銀灯からLED照明への切替など必要な整備を実施する。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(2施設) 利用状況 利用件数 933件 利用者数 27,486人 施設整備 丹生川文化ホール水銀灯照明LED改修、音響機器購入
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設予約システムの導入により、業務効率と利用者の利便性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 施設修繕など必要な整備を実施する。

担当課 予算要求 ポイント	生涯学習施設等の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに